



株式会社 SICデジタル

事業内容

PMO・コンサルティング事業、システム開発事業

創業 平成20(2008)年12月18日

代表者 代表取締役 高梨 晋

社員数 43名(男35名 女8名)

本社 大阪府吹田市広芝町12-25

クオレ江坂ビル10階

電話 06-6385-8031

採用エリア(勤務地)

安来市、
(希望により) 大阪府、(希望により) 東京都

採用区分

新卒採用

キャリア採用

採用担当者からあなたへ

私たちは、情報サービスの提供により、お客様の業績の伸長を通じて、広く社会の発展に貢献していきます。システム構築やプログラミングを仕事にしたい方、どうぞ説明会に足を運んでください。情報技術の学習を続けていく熱意のある方、チームで課題に取り組める方、大歓迎です!



情報開発センター長
吉本 勉さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

06-6385-8031

採用直通 E-mail

saiyou@sydic.co.jp

公式サイトはこちら



プログラムは難しいけど、できた時の感動もひとしお!

中学の頃、授業で触れたプログラミングに興味を持ち、地元安来市の情報科学高校へ進学した山根さん。高校の授業でシステム等を学んで卒業後に入社し、3か月の研修期間を経て、現在はシステムの保守・拡張を担当。実務を通してITや業務の知識を学んでいる最中である。「まだまだ分からないことばかりで、皆さんに聞きながら覚えているところです」と山根さん。ソースコードの命令や役割を読み解くのが面白いという反面、内容を理解するのはまだ難しく、ネットなどを駆使しながら調べているという。それゆえ、悩んで時間をかけたプログラムが正常に動いた時の喜びもひとしお。「一発で上手くいくことはなかなかないけど、動いた時は達成感を感じます」。会社の魅力は幅広い技術を持つエンジニアがたくさんいて、社員の皆さんが優しいところと話し、自身の未熟さを感じながらも、仕事に関する知識を着実に身に付け、何でも吸収しようとする意気込みが感じられる。事業所内の5名のメンバーのうち、女性は山根さん一人。「ちょっと寂しいので、これから女性が増えていくといいな」と笑顔で語った。



アプリケーション開発事業部
山根 颯季さん(18)
2024年入社(1年目)



1 情報開発センターのメンバーは現在5名。今後さらに人材を増やし、事業を拡大していく予定だ 2 安来市学習訓練センター2階にオフィスを構える 3 大阪本社とはオンラインで繋がっているため、離れていても孤立感がなく、気軽にやり取りできる 4 大阪本社から赴任してきた吉本勉センター長。手作りスイーツを社員に振る舞うことも

バリエーションの多い業務で飽きがこないのが魅力

昔からモノづくりが好きで、高校3年の頃からIT業界への道を意識していたという内田さん。SICデジタルが島根に事業所を開設して初めての採用組であり、現在は主にクライアント企業のシステムを支える運用サポート業務を担当。「安来唯一のIT企業であり、島根にいながら全国規模の大きな仕事ができるのが魅力。業務内容もバリエーションが多いので、飽きがこないですね」と、初期メンバーとして意欲的に業務に取り組んでいる。

業務の上で、プログラムを思い通りに動かすのと同じくらい難しいと感じているのがメールのやり取り。「一度送ったら取り消しができない怖さがあり、毎回気を使っています」と笑うが、同時に文章力も身に付いたと言う。「IT=理系に思われがちだけど、例えば手順書の作成では、誰でも同じ挙動ができるように手順を書かないといけない。そういう意味では国語力も必要なスキルです」。目下の目標は「基本情報技術者試験」に合格すること。「スキルアップに伴って資格を取っていききたいし、将来的にはエクセルのスペシャリストも目指していきたいです」



IT/MS事業部
内田 翔瑛さん(21)
2024年入社(1年目)



株式会社 SICデジタル

安来市を拠点にシステムを開発
ネットワークの無限の可能性

58
LEADING COMPANY

充実の研修制度で
幅広く人材を確保

情報処理サービス業として、2008年に大阪府吹田市に設立した《株式会社SICデジタル》。システムの企画から開発と運用までを一貫して請け負うシステム・インテグレーション事業や、ソフトウェアの受託開発など、幅広いソリューションで顧客のニーズに対応する。2015年には、ソフトウェア開発能力を評価する国際標準「CMMI」で最高位のレベル5を受けた《株式会社SIC&C》の100%子会社となり業務を拡大。2023年には島根県の誘致を受け、安来市に「情報開発センター」を開設した。市内を流れる飯梨川の近くにオフィスを構え、穏やかな田園地帯に囲まれた場所から、都市圏の企業へ向けたシステム開発を行っている。「島根のスタッフと一緒に新しい可能性にチャレンジしていきたい」。笑顔でそう話すのは、センターの開設にあたり大阪から赴任してきた吉本勉センター長。島根に拠点を置いた目的の一つは人材の確保であり、現在、センターで働く5名のうち、3名は島根で採用。都市圏の企業から受託したシステム開発業務やPMOコンサルティング業を主軸に、大

阪本社のメンバーと協働してプロジェクトに取り組んでいる。オフィス内には大型モニターが設置され、本社のオフィスとオンラインで繋がれている。お互いの状況がライブ映像で把握できるため、まるで同じオフィス内にいるような感覚で仕事ができ、コミュニケーションも取りやすい環境だ。「ネットワークがあればどこでも仕事ができる時代。東京と大阪と北海道で、一度もリアルに会うことなく進めた案件もあります」。ここで力を入れているのは人材育成。同社では入社してから1週間ほど大阪で研修を行った後、ビジネスマナーを主体としたオンライン研修と、OJTによる実務教育を約3か月実施している。そうした充実の研修を行うことにより、ITの専門知識がなくても問題なく志望してもらえると、吉本センター長は新たな人材に期待を込める。「ネットワークでの業務においては、ITの知識や技術よりも、コミュニケーション力や大切を考えています。将来的には地元企業とのパートナー戦略も視野に入れ、業務を拡大していきたい」。親会社である株式会社SIC&Cは、2023年に米国の投資ファンドとのMBOを実施。ここ安来市からグローバルなプロジェクトが生まれる日もそう遠くない。